



冬から春にかけて花を咲かせるクリスマスローズ。「冬の貴婦人」とも呼ばれます。

目次 CONTENTS

- 02 話題「福島県建築文化賞・復興賞」
- 04 特集1「3.11の飯舘村で」
- 08 特集2「飯舘村こども議会」
- 12 「教育長就任ごあいさつ」
- 13 学びの広場「豆まきとイチゴ狩り」
- 14 空から百景「春を待つ飯舘」
- 16 特集3「いいたて村芸能発表祭」
- 18 いいたて便り
- 20 話題のパレット
- 22 村からお知らせ
- 23 いいたてなりわいREPORT
- 24 いいたてイノサル通信
- 25 歴史の散歩道／ふれ愛館だより
- 26 村民広報委員コラム ほか
- 27 愛染故郷味／ひとのうごき
- 28 ほっとNEWS／お知らせ

📷 今月の表紙



「いいたて村芸能発表祭」で初舞台を踏んだ大谷琉希奈さん(小学3年生)と新川胡桃さん(中学2年生)。大先輩と一緒に「小宮の田植踊」を披露しました。P16の記事もご覧ください。

村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613までお知らせください。

「ひみつ基地どきどき」福島県建築文化賞・復興賞 子ども達の遊びが広がる仕掛けがいっぱいの秘密基地！

「ふかや風の子広場」の屋内運動施設「ひみつ基地どきどき」が、第40回福島県建築文化賞「復興賞」を受賞しました。多様な世代の帰還と交流を図るコンセプトや、何度も訪れたくなるようなさまざまな工夫が評価されての選出です。

「ひみつ基地どきどき」は、深谷復興拠点エリアに建設され、令和2年8月にオープンしました。子ども達に何度も遊びに来てほしくて、この建物には、つぶらな瞳のような丸窓、訪れる人をやさしく包み込むようにカーブを描いて広がる両翼の棟、鬼ごっこができる高床式の床下、室内に入れば木の温もりと開放感があるホール、こっそりのぞける隠れ小窓など、ひみつ基地としてどきどきの仕掛けが随所にちりばめられています。

コロナ禍もありましたが、多く

のご家族に親しまれ、令和6年11月には来館者3万人を達成しています。



こども園の訪問(2月5日)



ひみつ基地どきどき

午前10時～午後4時(時間入れ替え制)
毎週水曜日定休 利用料は無料



福島県建築文化賞・復興賞 福島市で表彰式が行われました

福島県建築文化賞の表彰式は、2月5日に福島市の杉妻会館で行われました。

「ひみつ基地どきどき」は、天井が高くのびのびと遊ぶことができる木育広場をはじめ、木材をふんだんに使用した温かみのある内部空間の建築素材・構造なども高く評価されました。



左から株式会社佐川旭建築研究所の佐川旭代表取締役、株式会社邑建築事務所の矢吹大代表取締役、杉岡村長、関場建設株式会社の関場直隆代表取締役社長。